

8-4-16 土質・地質専門委員会

1. 専門委員会の委員及び活動体制

令和 6 年度メンバーから交替委員 3 名、新規委員 4 名を加え、計 21 名のメンバーで活動を行った。

年間計画に基づく通常の活動は、企画・実施準備を 3 班のワーキンググループ（地盤評価 WG、調査結果品質確保 WG、照査特別 WG 対応）で担当し、実務・実行にあたっては専門委員会全体で対応する方針で運営した。

その他、国土基盤技術委員会から指示・要請を受けた課題については、その都度、全委員で情報を共有して対応した。また、地盤品質判定士協議会など外部組織からの要請課題についても対応した。

2. 主な活動の記録

(1) 毎月の定例専門委員会等の開催

定例の専門委員会は、月 1 回、対面方式に Web 会議方式を併用して開催した（令和 8 年 2 月、3 月は休会）。

(2) 活動の概要

令和 7 年度活動の概要は以下に示すとおりである。

a) 活動概要(1) 年間計画活動

① 地盤評価 WG の主な活動：

・第 31 回設計技術者のための地質・地盤リスク低減に向けた地盤技術に関する講習会の開催及びテキスト修正（オンライン開催：令和 7 年 11 月 7 日（金）参加者 565 人）

本年度も前年度と同様、オンライン配信による開催とし、チャットによる質問受付等を実施した。

内容は、午前を有識者による講演会、午後は委員を講師とした地盤調査・設計に関わる講習会とした。講習会後のアンケートでは、講演内容等に好評の意見を多数いただいた。一方、講演内容が多く細分化してほしいといった要望や、繰り返し視聴ができるオンデマンド型の Web 開催や動画配信を求める要望もあった。これらアンケートでの意見を来年度開催へ反映し、内容の充実を図る。

② 調査結果品質確保 WG の主な活動：

・RCCM 自主学習教材の改訂

令和 6 年度の自主学習教材に最新のトピックを反映するなど、改訂作業を行った。

・土質・地質調査に係るチェックリストの更新検討

照査特別 WG（品質委員会）にて収集された新たなエラー事例をもとに、地質・土質調査の計画、調査結果の評価等に関わるチェックリストを更新し、品質セミナーの資料に反映した。

③ 照査特別 WG 担当の主な活動：

毎月の品質委員会に出席。エラー事例収集と品質セミナーテキスト修正、セミナー講演会対応を行った。

b) 活動概要(2) 対外的な活動

・地盤品質判定士協議会への対応：

地盤品質判定士協議会の試験分科会（2 名）、資格制度監理委員会（1 名）に委員計 3 名を派遣した。

3. 次年度の活動について

基本的に、今年度の活動を踏襲・継続する。

「設計技術者のための地盤技術講習会」の開催、「RCCM 自主学習教材」テキストの更新、「設計技術者向け調査計画・結果チェックリスト」の更新等を中心とした活動を行う。加えて「調査計画の立て方（道路・河川事業編）」の改訂に向けた検討を予定する。

定例の専門委員会は、月 1 回、Web 併用の対面開催を基本として実施する。

また、令和 6 年度に開催した対外組織との意見交換会（全国地質調査業協会連合会との意見交換会）について、次年度は再開を予定している。地盤技術に関わる技術課題を共有するとともに、知見や技術情報の交換、連携した活動の可能性検討を目的として委員 10 名程度の派遣を予定する。

（土質・地質専門委員会委員長 檀上 裕司）